

「北村慈郎牧師の処分撤回を求め、ひらかれた合同教会をつくる会」

10・31集会のご案内

最近教団常議員会は、「戦後 70 年にあたって平和を求める祈り」を作り、諸教会伝道所に送ってきました。その中にこういう一節があります。「また、国政に責任を負う者の中に、多くの重荷を負わせられている沖縄の人々のうめきや痛みをかえりみず、言論を封じようとする発言があることに心が痛むと共に、為政者のおごりを感じます。異なる意見に耳をかさず、懲らしめなければならないとうそぶいている権力の担い手たちが、異なる意見を真摯に聞く心を与えられるように祈ります」。

これを読んで、もしこの祈りを教団執行部の方々が、為政者だけにではなく自らをも含めて真摯に祈るならば、教団における沖縄教区や北村牧師の切り捨ては起こらなかったのではないのでしょうか。現在の教団執行部の問題性は、この「戦後 70 年にあたっての平和の祈り」を、自らを問わずに平然と出せるところによく表れていると思われま

す。今回「北村慈郎牧師の処分撤回を求め、ひらかれた合同教会をつくる会」では、多様性を認め、対話による一致を求める、ひらかれた合同教会としての日本基督教団の形成を願い、下記のような集会を企画しました。

ぜひご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。

日時：2015年10月31日（土）13：00～16：00

場所：紅葉坂教会

発言1、関田寛雄支援会世話人代表

『宣言』がめざすもの

発言2、戒能信生さん（日本基督教団千代田教会牧師）

「日本基督教団の歴史からみた現在の教団の問題」

発言3、西村大介さん（秦野西教会信徒、神奈川教区総会議員）

「一信徒から見た今の教団の問題」

協議（3人の発言を受けて協議の時間を持ちます。）

北村慈郎牧師の処分撤回を求め、ひらかれた合同教会をつくる会